

平成30年度おかやま協働のまちづくり賞応募募用紙

平成30年10月19日

岡山市長 様

応募者代表 団体名 助け合うお母さんの会
氏名 枝広 真祐子

平成30年度「おかやま協働のまちづくり賞」に応募します。

<p>取組の名称</p>	<p>西日本豪雨災害支援ボランティア「自由あそびのひろば」</p>
<p>取組の概要</p> <p>※インターネット投票を行うサイトにそのまま掲載します。 今年のテーマとの関連がわかるよう、目的（解決を目指している課題）及び取組概要を300字（句読点含む）以内で記載してください。</p>	<p>7月豪雨で被害を受けた子育て世代の親子の支援を目的とし、隣接する地域住民（中心となる団体は小さな子を持つ約60人のママ）を主体として、岡山市東区瀬戸町江尻レストパークにて「自由あそびのひろば」を開設。災害の後片付けなどに追われるママたちの助けに少しでもなればと、子どもたちの預かりや居場所づくりからスタート。地域で助けが必要な人がいたら住民の自分たちが主体となって迷わずすぐに手を繋ぐ、そんな地域でありたい。その背中を子どもたちへ示したい。そして、支援する側もされる側も、同じ子育て世代として共に子育てをしていきたい。それらの思いを大切に、参加してくれた皆さんと一緒に今できる精一杯の支援を行った。</p>
<p>協働団体</p>	<p>岡山市社会福祉協議会瀬戸支部 瀬戸公民館 瀬戸地区民生委員・児童委員協議会 岡山市愛育委員協議会江西学区愛育委員会 (株)皿井タクシー 児童館ゆう遊プラザ 千種学区連合町内会 江西学区連合町内会 (株)ベネッセホールディングス (株)ファーストディレクション (株)村上興業 こどもクリニックえくぼ (有)毎日 公益社団法人日本3B体操協会 (株)ストライプインターナショナル (株)おもちゃ王国 NPO法人備前プレーパークの会 NPO法人岡山市こどもセンター 岡山学芸館高校 瀬戸公民館サークル「子育てネットふわっと」 錦楽園 他</p>

取組の実施期間	始期：平成30年7月～	<input checked="" type="checkbox"/> 平成 30 年 8 月終了 <input type="checkbox"/> 継続予定 <input type="checkbox"/> 平成 年 月頃終了予定 <small>※該当するものに☑し時期の予定し必要事項記入してください。</small>
---------	-------------	--

●次の書類等を添付してください。

- ①〔様式1〕協働による社会課題解決の取組の内容
- ②〔様式2〕取組実施団体概要書
- ③写真等取組イメージ画像の電子データ（1枚）
インターネット投票を行う際にエントリー一覧に使用します。エントリー一覧は、応募順（事務局受付順）に掲載します。
- ④取組内容や成果、協働の役割などをわかりやすくまとめたシート（A4またはA3）1枚
シートをもとに、事務局でポスターを作成し、展示等を行います（シートの作成が技術的に困難な場合は早めにご相談ください。シートづくりをお手伝いします。）
- ⑤その他取組の説明資料：A4で2ページ以内で添付できます。

※提出していただいた書類等はすべて審査の対象となり、〔様式2〕以外は原則、ホームページ等で公開します。

〔様式1〕 協働による社会課題解決の取組の内容

取組の名称	西日本豪雨災害支援ボランティア「自由あそびのひろば」
平成30年度募集テーマ	<p>やりがいと豊かな暮らし SDGs 目標8：働きがいも経済成長も SDGs 目標11：住み続けられるまちづくりを</p>
テーマとの関連	<p>◎テーマと合致する貴団体の取組についてお書きください。</p> <p>住み続けられるまちづくりを</p> <p>地域に助けが必要な人がいたら、住民の自分たちが主体となって迷わずすぐに手を繋ぐ、そんなことが当たり前の地域でありたい。そんな背中を子どもたちへ示したい。そして、支援する側もされる側も、同じ子育て世代として共に子育てをしていきたい。それらの思いを大切に、約60人の子育て中のママたちを中心としてこの夏、朝から夕方まで日々災害支援を続けました。徐々に私たちの活動に町内外から沢山の個人、団体、企業さんなどが支援に加わってくださるようになり、少しずつ大きな活動へと広がっていきました。</p> <p>また、支援することに奮闘していた側の私たち親子も、まだみんな小さな子どもがいるため、おんぶに抱っこで自分の家庭の事もこなしながらの必死のボランティアでした。そんな私たちを町内の愛育委員さんや民生委員さんをはじめ、本当に多くの方々が私たちの活動と一緒に加わって下さるようになり、気づけば、支援されたのは被災された親子だけではなく、支援する側であったはずの私たち親子もとても助けられました。</p> <p>地域(学区)や世代を越えて人がつながり、いろいろな方がいろいろな形の支援を一つの場所で行うという助け合いの環境が生まれ、その中でのおびのびと子どもが育つ、共同の中での子育ての場となり、みんなにとって居心地の良い温かい空間となっていました。</p>

<p>目的・解決をはかりたい課題の状況・目標</p>	<p>◎取組の目的、解決をはかりたい社会課題の状況把握・ニーズ把握、解決後の姿（目標としている状況）などについてお書きください。</p> <p>豪雨が降り注いだ日から、隣接する学区の同じ子育て世代の親子を助けたくて、何かの力になりたくて、居ても立っても居られませんでした。</p> <p>被災し疲れ切った表情のお母さん方の力に少しでもなりたかったのと、自分たちの子どもと同じ世代の子どもたちに、居心地の良い遊び場(居場所)を用意してあげたくて、最初は代表者の自宅を開放し、みんなで物資を集めて仕分けしたり、託児をしたり、ご飯を作って届けたりを繰り返していましたが、自宅だと広さ的にもどうしても限界があり、どこか良い場所はないかといろんな方へ相談し探していた時に、町内の民生委員さんが、市議会議員さんなどからもアドバイスをもらってみやら、とのことでした。そしてその後、市民生活局へ相談してみても、とのアドバイスなどをいただき、瀬戸町江尻レストパークを拠点に子どもの預かりがスタートしました。活動が始まってすぐに、被災された方々のニーズを聞いていくうちに、水没して交通手段がなくなり、ここの場所までくることが出来ない、という声が上がってきました。そのことを受け、社協さんと一緒に町内のタクシー会社さんにバスの運行のお願いに行き、最終的に皿井タクシーさんが無料で送迎バスを出してくださることになりました。</p> <p>このように、常にその時のニーズに合わせて、みんなで力を出し合って、臨機応変に一つ一つ問題を解決していきました。</p>
<p>取組の内容</p>	<p>◎取組の内容について具体的にお書きください。</p> <p>1 取組の対象：対象地域、対象者、対象人数など</p> <p>平島地区を中心に豪雨で被災された地域の子育て世代の親子を対象としました。対象人数は未定のままスタートしました。</p> <p>2 活動内容、実施方法など（活動ごとに箇条書きで）</p> <p>7月の豪雨災害で被害を受けた子育て世代の親子を支援することを目的とし、隣接する地域住民(中心となる団体は小さな子どもたちを持つ約60人のママたち)を主体として、岡山市東区瀬戸町江尻レストパークにて「自由遊びのひろば」を開設しました。ここでは、災害の後片付けなどに追われるお母さんたちの助けに少しでもなればと、子どもたちの預かりや居場所づくりからスタートしました。次第に、たくさんの町内外の方々が協力して下さり、ベネッセさんの学習支援やしまじろうコンサート、おもちゃ王国さんから大量のおもちゃの寄付、町内の皿井タクシーさんの無料送迎バスの運行(これに合わせてバス停となる平島のダイレックスさんやマルナカさんにご協力いただきました)、出屋敷町内会さんの夏祭りへの招待(屋台への無料券付)、町内の愛育委員、民生委員さん、児童館の先生などもお手伝いに来て下さったり、音響(スピーカー)も町内の企業ファーストディレクションさんが日々のBGMを流せるようにと常設で貸して下さい、同じく町内の公民館サークル「子育てネットふわっと」さんから人的支援や土井先生の工作教室、町内の(株)毎日さんからの飲料の支援、この地域の校医であるこどもクリニックえくぼさんから飲料の寄付、学芸館高校の生徒会より衣類の寄付、平島の3B体操洪野先生の体操教室、錦楽園の石川さんによるママ向けフラワーアレンジメント講座や、備前からプロのマッサージ師が来て下さったり、町内のつみきの会の方による読み聞かせや、同じく富山のお話しポケットさんによる読み</p>

聞かせや工作教室、和気からウクレレの演奏と読み聞かせ、西大寺からバルーンアートのほんまさん、福山から子どもの遊び相手のプロのクロちゃん、就実大学から筒井先生、岡山市こどもセンターさんと備前プレーパークの方々がサポートとして次々来て下さり、仙台のプレーパークから子どもたちへ、リアカーの寄付や、(株)ストライプインターナショナルさんや平島の(株)村上興業さんなど企業さんも飲料やプール、テントなどの支援をして下さいました。個人の方も町内から新鮮な野菜を「是非みなさんへ配って上げて下さい」と持って来て下さったり、この活動へ使ってくださいと寄付金を下さったり、保育士や助産師の資格を持たれる方が来て下さったことで、生後2か月の赤ちゃんを安心して任せることが出来たり、産後疲れ切っていたママさんへ乳腺マッサージなどをして下さいました。またこの活動についての記事が新聞に載ったことで、それを見て以前、平島幼稚園で勤務されていた先生方が、被災された方々の応援に会いに来て下さいました。この他にも、本当に多くの方が色々な形で支援をして下さり、どんどん活動の輪が広がっていきました。

これらの活動中に大切にしていたことは、まずは約60人の「助け合うお母さんの会」のメンバーの意思疎通です。毎日、LINEアプリを用いてその日のバスの利用状況をリアルタイムでメンバーと共有したり、夜には活動状況を報告し、翌日以降の注意点や連絡事項、話し合う必要のある問題点などがあれば伝え、状況に応じてLINE上で議論をして一つ一つみんなで答えを見つけていきました。

常にメンバーの気持ちを一番大切にしたいので、なかなか一度に集まるのが難しいためLINE上ではあったものの、毎回できるだけ全員で話し合うよう努めました。

毎回、翌日のボランティアに入れるメンバーの人数把握をし、その状況を全員で共有しておくために、前日の夜には出欠を取り、誰が何時から何時までお手伝いできるかを一覧表にして翌日にはその情報を流すようにしていました。メンバーが手薄になる時間帯があれば、そこに入れる人の呼びかけを再度行うこともありました。また、小さい子を持つお母さんばかりなので、朝から家の事もしつつ、夜の準備までして、お昼のお弁当を持ってくることはかなり負担になっていたもので、途中から、お昼を挟んで活動に参加してくれるメンバーにはお弁当を注文し渡すようにしました。

子育て世代が、同じ世代のお母さんを支えたいという思いで自主的に集まったことに価値があると信じて、最後まで丁寧にこの活動を進めていくよう、お互いコミュニケーションを大切にしました。

また、託児や、子どもたちのみでのバスの利用、平島小学校の学童さんのバスの利用なども一気に始まり、毎日メンバーでアイデアを出し合い、バスに限らず全ての仕組みを1から作り上げていきました。

例えば、バス停をどこにするか、時刻表、バスにメンバーは毎回便乗するのか、

<p>そのチラシの作成や告知方法など、また託児の子どもたちとバス利用の子どもたちが一見して区別がつく必要があったため、何種類かのカラーテープでリストバンドを作ったり、お迎えが来たかどうかや今預かっている子どもの把握が一目瞭然で分かるようにするため、それぞれの表を作りメンバー全員が目の届く位置に掲示したり、大きなプールへの対応や熱中症対策を考えたり…と、本当に何もないうところから急ぎよ集まったこのメンバーで直ちに様々な枠組みを作っていく必要性に迫られ、それを解決していくことの連続でした。</p> <p>そういった中でも、子どもたちの安全確保は最優先で考え行動しました。大切な子どもたちを預かることの責任と、様々なリスクのある中で、それでも助けが必要な人がいたら、すぐそばにいる自分たちが主体となって迷わず手をつなぐ、そんな地域でありたいし、そんな背中を子どもたちへ示したい、そして、支援する側もされる側も、同じ子育て世代として共に子育てをしていきたい、それらの思いは軸からぶれない様に、メンバーで今できる精一杯の支援を行いました。</p> <p>◎取組をWEB等で告知している場合はそのURLをお書きください。</p> <p>なし</p>

	団体名	この取組で果たしている役割
協働団体とその役割	岡山市社会福祉協議会瀬戸支部	この活動を後援して下さったことにより、地域の方々へ広く活動を認知することが出来ました。
	瀬戸地区民生委員・児童委員協議会	毎回2, 3ずつボランティアに入って下さり、活動を支援して下さいました。
	岡山市愛育委員協議会江西学区愛育委員会	毎回2, 3人ずつボランティアに入って下さり、活動を支援して下さいました。
	(株)皿井タクシー	無料で送迎バスを出して下さいました。
	(株)ベネッセホールディングス	学習支援を行って下さいました。また、最終日にはしまじろうのコンサートを企画して下さいました。
取組の工夫 取組の特徴	<p>◎地域資源や人的資源の活用など工夫した点をお書きください。</p> <p>地域資源である、江尻レストパークという場所が、このような活動の拠点になったことで、改めて地域の大切な資源であり場所であるということが広く認知されました。</p> <p>「助け合うお母さんの会」を中心に、町内の多くの方々が無事にサポートに回って下さったことは大変心強く有難かったです。地域とのつながりは最大の資源だったと思います。</p> <p>◎取組の特徴やアピールポイントをお書きください。</p> <p>緊急時に地域住民が、隣接する学区の親子を支えるために、自主的に立ち上がり行動を起こしたことと思います。</p>	
成果・効果	<p>◎取組を通じて得られた成果や、解決した社会課題の状況、また関連した地域への効果や変化などをお書きください。</p> <p>この「自由遊びのひろば」の参加人数は、支援する側の親子含め、初日は大人19人、子ども31人から始まりました。その後、徐々に人数が増え、一番参加者が多かった最終日には、ベネッセさんのご協力の元しまじろうのコンサートが行われ、大人90人、子ども210人の参加があり、この活動全ての参加人数の合計は、大人754人、子ども1329人でした。</p> <p>助け合うお母さんの会を中心として、本当に多くの方々に支えていただき、そのおかげで大きな事故や怪我などもなく、子どもたちを無事最後まで預かることが出来ました。</p> <p>そして大人も子どもも学区や世代を越えて繋がり、人との絆が生まれたことが何よりもの宝だと思えます。</p>	

<p>今後の活動 展開 など</p>	<p>◎今後の成果の普及や活動展開などについてお書きください。</p> <p>この「助け合うお母さんの会」の輪と、この活動によって繋がった方々との輪を今後も大切に、自分たちに何ができるかを考え、また違った形で何らかの活動ができればと思います。</p> <p>現地点では、この災害支援で繋がった方々に声をかけ、月に一回集まれる場を用意しています。</p> <p>9月は江尻レストパークにて岡山市子どもセンターさん主催で、音楽鑑賞会を企画していただきました。</p> <p>10月は瀬戸下公園にて「遊び屋。おせと」主催のプレーパークを開催し、そこに、この夏、支援活動に参加して下さった、フラワーアレンジメントの方やバルーンアートの方、読み聞かせの方々に声をかけさせていただき一緒にワークショップなどのブースを企画・参加していただきました。</p> <p>また、江尻レストパークという場所は本来、岡山市から使用料が必要と定められているのですが、今回の支援活動で出屋敷町内会さんなどとも繋がることができ、出屋敷町内会さんのご理解ご協力のおかげで今後、「助け合うお母さんの会」がレストパーク利用を希望する場合は、無料で使用可能になりました。予算など全くない私たちにとって、このことはとても有難いことで、今後の何らかの活動を企画する際に、みんなの思い入れのある場所で活動可能になったことを本当に嬉しく思います。</p> <p>これからも、子どもの笑顔と大人の笑顔がたくさん増えていき、地域の輪がどんどん広がっていくといいなと思います。</p>
----------------------------	---